

山形市

野草園だより

49号



ヤマユリ（ユリ科） 花期：7月中旬～8月上旬



シンボルマーク
原画 阿部功雲氏

ヤマユリは、本州中部から北の山地に生える日本特産の多年草です。茎の高さは1～1.5 mで直立していますが、花茎が20 cmもある大形の花を茎の上に数個つけるので、その重みによって少し倒れるものが多いようです。6枚の花被片は白く、真ん中に黄色い筋が入り赤褐色のたくさんの斑点があります。雄しべの薬は赤くて目立ちます。花は強い芳香もあり、鱗茎は黄白色の扁球形で、食用にもなります。野草園では、「ロックガーデン」とその東のスギ林、そして「薬草コーナー」向かいの西斜面に約300近くの花が咲いています。

夏から秋に



カワラナデシコ(ナデシコ科)

花期: 7月中旬~9月中旬

カワラは河原に生えることから、ナデシコは可憐な花なので撫子の名がついたようです。



クルマユリ(ユリ科)

花期: 7月下旬~8月中旬

名は車百合で、葉が放射状についた点を車にたとえたようです。



ヒオウギ(アヤメ科)

花期: 7月下旬~8月

葉の並び方が桧扇(桧の薄板を重ねてつくられたもの)に似ているので名がつけられたようです。



ツリフネソウ(ツリフネソウ科)

花期: 8月~9月

名は、花が帆かけ船をつり下げたように見えることからつけられたようです。



ウゼントリカブト(キンポウゲ科)

花期: 8月中旬~10月上旬

名は花の形が舞楽の楽人の冠に似ているからです。猛毒で名が知られています。



アケボノソウ(リンドウ科)

花期: 8月下旬~9月

名は、花の色を明け方の空に、斑点を夜明けの星空に見立てたものです。



エゾリンドウ(リンドウ科)

花期: 9月~10月中旬

湿地に生える多年草で、茎の頂きや葉の脇に青紫の花をつけます。名はリンドウの根茎と根を乾燥したものが漢方薬の竜胆で、その名がそのまま呼ばれたようです。



ウメバチソウ(ユキノシタ科)

花期: 9月~10月

梅の花に似ていて、梅鉢の紋を連想させるようなので、名がついたようです。



ヒガンバナ(ヒガンバナ科)

花期: 9月下旬~10月

花被は6片で細長く外側に反り、雄しべと雌しべが長く出て花被と同色です。名は秋の彼岸頃に花が咲くことからつけられたようです。

咲く花々

※説明は花の名前の由来です。



オミナエシ(オミナエシ科)

花期: 7月下旬~10月上旬

名のオミナは“女”、エシは“飯”が訛ったことばのようです。



フシグロセンノウ(ナデシコ科)

花期: 8月

茎の節の部分^{ふしぐろ}が紫黒色なので“節黒”、“仙翁”はこの仲間が仙翁寺に多くあったので名がついたようです。



レンゲショウマ(キンポウゲ科)

花期: 8月~9月上旬

花がハスの花に似ており、葉がサラシナショウマに似ていることから名がつけられたようです。



シュウメイギク(キンポウゲ科)

花期: 8月下旬~10月

名は、秋に菊によく似た花をつけることからつけられたようです。



サラシナショウマ(キンポウゲ科)

花期: 9月~10月上旬

名は晒菜升麻で、若葉をゆでて水にさらして、食べることによるそうです。根茎の乾燥したものは生薬の升麻で、薬草として使われるようです。



サクラダテ(タデ科)

花期: 9月~10月上旬

タデの仲間では小さいが一番美しいと言われる花で、桜の花に似ていることから名がついたようです。



ジュウガツザクラ(バラ科)

花期: 4月中旬~5月上旬、9月下旬~11月

花は淡紅白色で八重咲きです。名は十月桜で、秋から開花します。秋に咲く花は小形です。冬には休んで、また春に咲き始めます。

ガイドウォーク案内

毎週日曜日の午前10時、午前11時、午後1時、午後2時からの4回。それぞれ1時間程度、専門のスタッフが今咲いている草花を中心に解説・案内するものです。誰でも自由に参加できる無料の案内です。



9月になると野草園にやってくる 渡り蝶の「アサギマダラ」

9月になると野草園の「七草の庭」には、秋の七草(フジバカマ、オミナエシ、キキョウ、カワラナデシコ、ヤマハギ、クズ、ススキ)が咲き誇ります。すると渡り蝶で有名なアサギマダラが飛んできます、なぜなのでしょう。それは野草園にたくさんのフジバカマの花が咲いているからです。蔵王の山々で生まれ育ったアサギマダラが南の方に移動するとき、その一部は野草園を通過していくと考えられます。アサギマダラが蜜を吸う好みの花はフジバカマ、ヨツバヒヨドリ、ヒヨドリバナなどのキク科ヒヨドリバナ属の植物なのです。これらの花にはピロリジジンアルカロイドと呼ばれる物質が多く含まれており、アサギマダラの雄が成熟するために必要な物なので



です。雄が雌を惹きつけるフェロモンはこの物質から作られているのです。だからフジバカマには雄が多く集まります。ここで十分蜜を吸ったアサギマダラは、また次の蜜を求めて南への旅に出発します。野草園では、通過するアサギマダラの数を増やして、多くの来園者に見てもらおうと考えています。そのためにフジバカマの栽培面積を広げ、吸蜜場所を増やす計画を立てています。

アサギマダラ(タテハチョウ科で羽根が浅黄色のまだら模様であることからそのように呼ばれている)の寿命は7ヶ月前後で、春と秋とで世代交代しながら、春には日本列島を北上し、秋には南下する渡り蝶です。秋に南下するアサギマダラは、6月前後に産卵しふ化して幼虫になり、イケマやオオカモメヅルなどガガイモ科の植物を好んで食べて成長します。7月中旬に野草園の近くの山でオオカモメヅルを食べている幼虫を発見しました。(写真右)そして、7月～8月に蛹化と羽化をして、8月下旬に南下を始めます。南の地方で雄と雌は交尾して産卵し、冬までには一生を終わります。その卵がふ化して次の世代の幼虫になり冬を過ごし、翌年の春の3月下旬～5月に蛹化と羽化をし、今度は北上の旅をして北の地方に戻ってくるのです。



参考文献：「謎の蝶 アサギマダラはなぜ海を渡るのか？」 栗田昌裕著 PHP研究所

～一年を通じた様々な楽しみ～



今年は、4月下旬から続いた晴天とこれに伴う気温の上昇により、園内の開花が急速に進みました。5月初めには「世界に一本だけ」のミヤマカスミザクラが例年より10日程早く満開となり、テレビの全国放送で取材を受けたこともあり、お蔭様で春祭りは大いに賑わいました。4月から6月にかけては、他にもオオヤマザクラなど多くの種類の桜とともに、ミズバショウとザゼンソウが競演する群落や、クリンソウやカタクリの群生など見所が多く、毎年のお客様のうち6割以上がこの時期に集中します。

6月末からの「ホタル観察会」は今年も大人気で、園の夏の風物詩として定着しつつあります。この時期のアジサイもまた見事です。

秋の大きな見所の一つは「七草の庭」であり、秋の七草が一斉に楽しめます。また七草の一つのフジバカマに好んで寄るアサギマダラは、遠く九州や沖縄まで渡りをする美しく優雅な蝶であり、自然の山に行かずともここでじっくり観賞することができます。

園内には約1000種の植物があり、シーズンを通し可愛らしい多くの花々が迎えてくれますが、10月になれば、見所の主体は紅葉や木の実、冬芽に変化していきます。本当に園内の楽しみ方は多くあるものです。冬期間の「四季観察会」にも新しい発見があります。ぜひお出かけください。

野草庵で憩いの時間を

野草園内の自然学習センターの中に「野草庵」があります。野草園ができた直後から営業してきました。手打ちそばを作って18年にもなります。お勧めのメニューはそばと旬の野菜の天ぷらです。また暑いときにはアイスクリームが美味しいです。濃厚なバニラと、ブルーベリークリームチーズの2つのアイスクリームが特にお勧めだそうです。野草園の花を見た後は、樹木に包まれた所で、鳥などの鳴き声を聞きながら、そばやアイスクリームを食べる憩いの時間も楽しいものです。

【定休日は月曜日・木曜日】



ホタル観察会 6月下旬～7月上旬

かつて田んぼや小川には、夜になるとホタルが飛び回っていたものでした。しかし、ホタルが減少し現在、山形市内でホタルを見ることができる場所はわずかです。野草園では、毎年6月下旬から7月上旬の夜に、ホタル観察会を行ってきました。これまでは「ウランウデの庭」のログハウス付近で観察会を行ってきましたが、ホタルの飛び回る場所が変わり、今年の最後は「ミズバショウの谷」で観察会を行いました。土曜日や日曜日には100名近くの子供連れのお客様達が、ホタルの飛び回る幻想的な風景に感動していました。野草園は山形市街から車で約20分、大きな駐車場もあり、案内や説明もしっかりして、安心してホタルを観察できますという声が多いです。今後も、初夏の夜にホタルの観察ができるホタルの里づくりを目指して、取り組んでいきます。(ホタル観察会の案内は6月の山形市報「広報やまがた」と野草園HPに掲載されます。)



野草園の主な催し物 スナッブ



そば打ち体験



乗馬体験



バードウォッチング



ポタニカルアート体験講座



野草園の主な催し物(8月～11月)

- ◆ガイドウォーキング…毎週日曜日・祝日
(9月は毎週土曜日にも実施します)
- ◆西藏王の風景画展…7月18日(土)～8月23日(日)
- ◆工作コーナー…7月28日(火)～8月23日(日)
- ◆木工工作教室…7月25日(土)・8月1日(土)・8月8日(土)
- ◆ラベンダースティック作り…7月26日(日)・8月2日(日)
- ◆星空を見る会…8月8日(土)・9月5日(土)
- ◆第22回写真コンテスト作品募集
…9月1日(火)～9月25日(金)
- ◆プリザーブドフラワー教室…9月5日(土)
- ◆東北南3県ポタニカルアート作品展
…9月6日(日)～9月23日(水)
- ◆ポタニカルアート体験講座…9月12日(土)
- ◆秋の野草園祭り…9月19日(土)～9月23日(水)
焼き栗振舞い…19日 ミニSL運行…19日・20日
乗馬体験…20日 山野草の育て方教室…22日
西藏王観察会…23日 餅振舞い…23日
- ◆65歳以上入園無料…9月21日(月・敬老の日)
- ◆新そばのそば打ち体験…10月3日(土)・10月10日(土)
- ◆ハーブリース作り…10月11日(日)
- ◆第22回写真コンテスト入賞作品展
…10月12日(月)～11月23日(月)
- ◆焼き芋振舞い…10月17日(土)・18日(日)
- ◆四季観察会(紅葉と樹木)…10月27日(火)
- ◆バードウォッチング…11月1日(日)

※都合により日程・内容の一部が変更になる場合があります。

《開園時間等》

- ・開園時間／4月～5月 9:00～16:30
6月～8月 9:00～18:00
9月～11月 9:00～16:30
- ・休園日／毎週月曜日
《ただし、月曜日が祝日の場合はその翌平日》
- ※4月の第3月曜日から6月の第2月曜日まで休まず開園します。
- ・冬期間休園／12月～3月
- ・入園料／大人：300円 高校生以下：無料
◆団体割引(20人以上の場合)
大人：240円 高校生以下：無料

《交通案内》

- ・JR山形駅より山形交通路線バス西藏王・野草園行き終点下車
- ・山形自動車道蔵王ICより西藏王高原ラインを蔵王温泉方面へ15分
- ・国道13号より、県道53号経由または市道三本木線経由で10分

